

令和7年3月21日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
金武町立中川小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
金武町立 中川小学校	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-01.html	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和6年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-02.html

※8月末までに上記 URL において公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設されていくことから、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和7年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ☐ 一部、計画通り実施できていない
- ☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ☐ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 中川小学校では「夢や目標を持ち、心身ともに健康でたくましく、持続可能な社会に貢献する」を大きな柱とし、「よく考えやり抜く子(知)」「心はひろく思いやりのある子(徳)」「健康でたくましい子(体)」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①地域を愛する心を育て、日本の文化・伝統に誇りをもつとともに外国の文化を理解し、互いに尊重する態度を育てる、②相手の気持ちを思いやり、だれとでも仲よくする

気持ちを育てる、③自分の考えや意見をはっきり表現できる子を育てる、を元に低・中・高学年別に目指す子ども像を立て、日々の英語活動に取り組んでいる。また、本校はユネスコスクールであり、本特例校事業を国際理解教育の一環としてESD教育（Education for Sustainable Development, 持続可能な開発のための教育）を推進している。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることが伺える。学年が上がるにつれて、楽しさの割合がアップしていることから、英語学習の積み重ねが、授業に向き合う自信につながっていることが考えられる。全体として、問1「英語の授業は楽しいですか」、問3「英語の授業で友だちと楽しむことができますか」問9「英語を使って外国の人と話してみたいですか」、問10「英語を勉強することは大切だと思いますか」が特に高い割合を示していることから、児童が英語学習に積極的に取り組んでいることが伺える。

金武町には米軍基地があり、基地従業員も多く、保護者のネイティブスピーカーとの会話をする機会が多いことから、身近に英語を必要と考える児童も多い。【別表2】

（2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

英語活動で学んだことが、学校生活や日常生活で役立ったり、成果を表せたりすることが、児童たちの自信と向上心につながると考えられる。それにおいては、児童だけの意識だけでなく、とりまく人や環境が後押しすることが必須である。

また、各教科に横断的に取り入れるシステム作りも必要であることから、教科を担当する教師が、年間マネージャカリキュラムを意識することで、教科の単元と組み合わせて実施することが、児童の向上心を揺さぶると思われる。

- | | | | | | |
|----|-------|---|----|---|---|
| 例1 | 算数：図形 | + | 英語 | = | triangle, square, circle, Draw a line など |
| 例2 | 図工：描く | + | 英語 | = | color, red, blue, white, Hold a brush など |
| 例3 | 社会：地図 | + | 英語 | = | map, school, park, station, Turn right など |

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

（1）成果

- ・児童の9割以上が英語の授業を楽しんでいる。
- ・年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感が少なくなっている。
- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を合計5回実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。

- ・ 中学年の文化交流授業として、町内の ALT・JTE の先生方が小学校に来て国際文化交流を実施した。インド、フィリピン、アメリカ、オーストラリアなどの文化を紹介してもらい、外国の知識を深めることができた。児童も事前に調べて質問するなど良い交流ができた。
- ・ 「教育課程特例校」の取り組みの内容ではないが、児童の中から受験を希望する者が出てきたので今年度から小学校 5・6 年生を対象に英検 5 級を実施した。中川小学校か 3 名受験し全員合格した。「教育課程特例校」で英語を継続して学習してきて、英語に対する意欲が高まったものと捉えることができる。

（２）課題

- ・ 担任主導の授業法の推進
- ・ ティームティーチングの充実
- ・ カリキュラムの見直し及び内容充実

（３）今後の取組の方向性

- ・ 互見授業を通じた授業改善
- ・ スモールトークの充実
- ・ 担任と ALT・JTE との打合せ時間の確保
- ・ 外国人との交流の推進・内容充実

6. 資料

- （１）教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表 1】
- （２）令和 6 年度教育課程特例校に関するアンケート（1 年～4 年）【別表 2】
- （３）令和 6 年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）【別表 3】
- （４）令和 6 年度教育課程特例校に関するアンケート（保護者）【別表 4】

【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

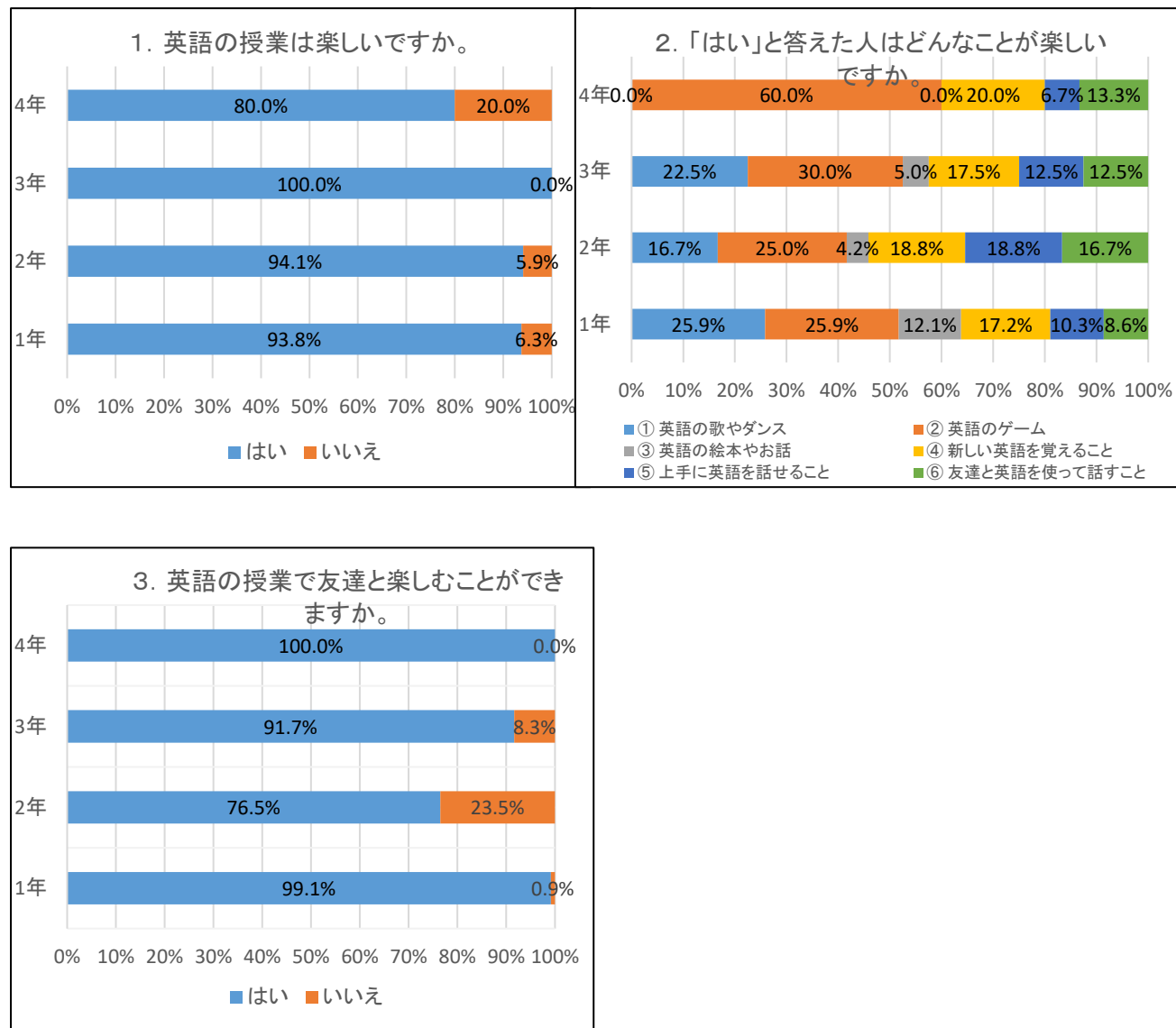
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業数	外国語活動・外国語科の授業時数	特例校英語活動の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

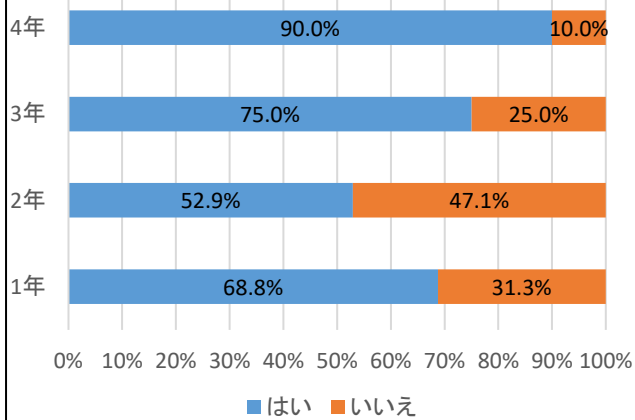
※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにて表記。

【別表 2】令和 6 年度 教育課程特例校に関するアンケート（１年～４年）

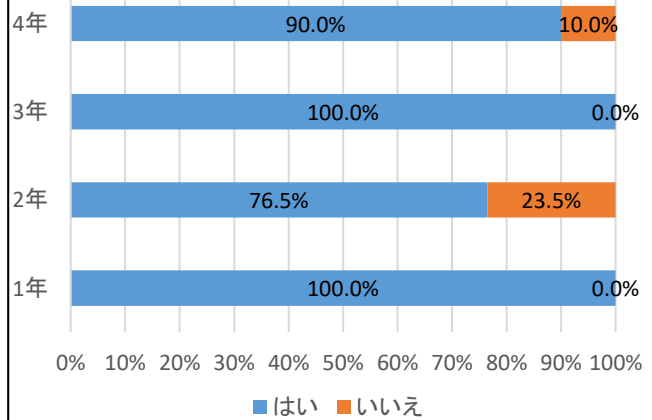
令和 6 年度 教育課程特例校に関するアンケート（１年～４年） 集計表 中川小学校



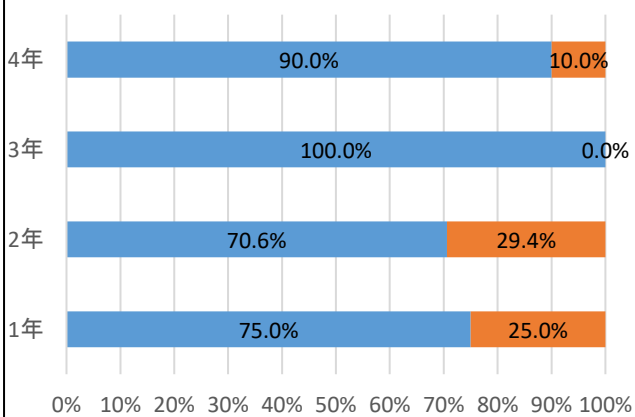
9. 英語を使って外国の人と話してみたいですか。



10. 英語を勉強することは大切だと思いますか。



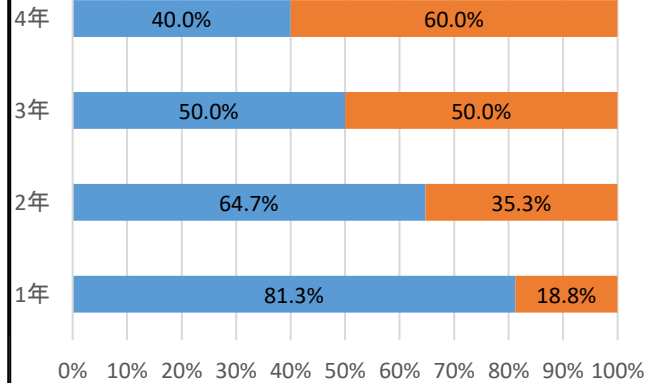
5. 英語であいさつができますか。



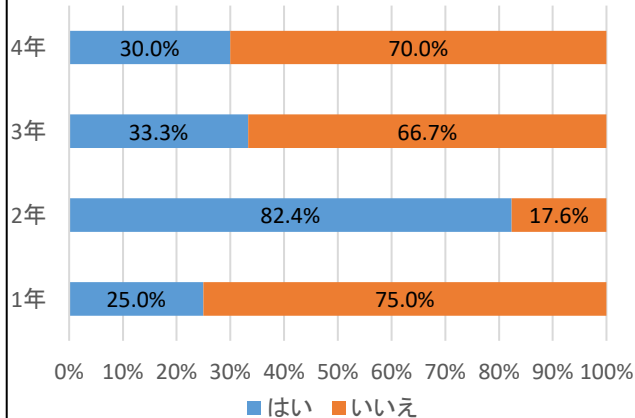
4. 恥ずかしがらずに先生と話せますか。



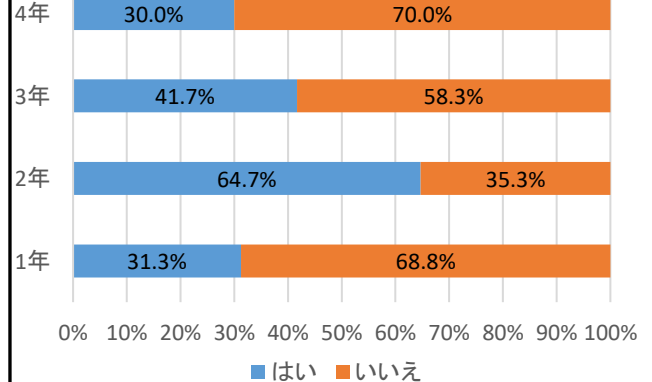
6. 先生の話している英語の意味がわかりますか。



7. 英語の授業で、先生や友達に英語を使って話しかけたりしていますか。



8. 授業以外で、英語の先生に英語であいさつしたり、話しかけたりすることはありますか。



児童（１～４年）へ行ったアンケートには、下記のような感想がよせられた。（抜粋）

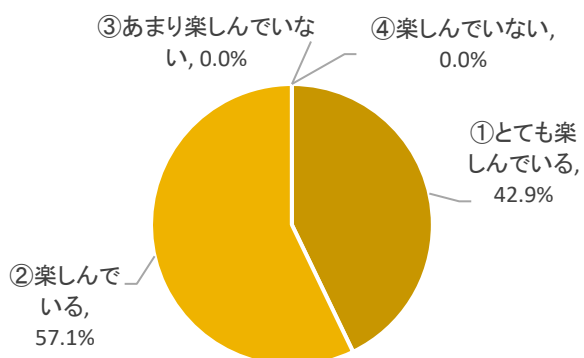
★「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して

- ・ いろいろな英語のことばを覚えることができるから。
- ・ 外国に行ったとき、英語が話せるといいし、困ったときに英語で質問できるから。
- ・ 外国の人に話しかけられたら答えたい。
- ・ いつか、外国に旅行をしにいくときに、ひつようだとおもうから。
- ・ 将来で外人と、仕事で話す時が来ると思うから。
- ・ 英語は大切だから。
- ・ 外国の人と話したいときに英語がわからないと話せないから。

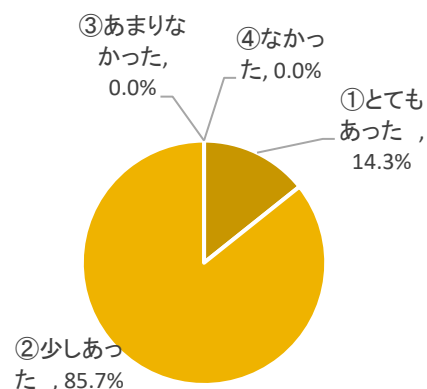
【別表３】令和６年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）

令和６年度 外国語活動に関するアンケート（中川小 教師用）

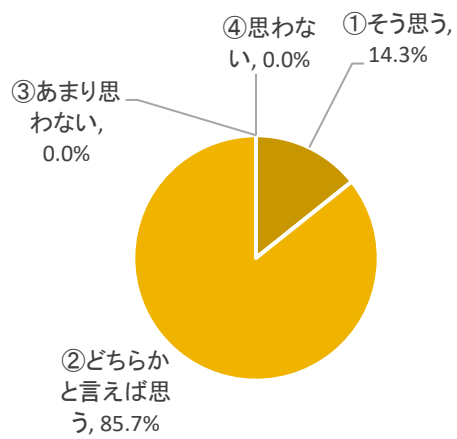
１．児童は外国語活動を楽しんでいますか。



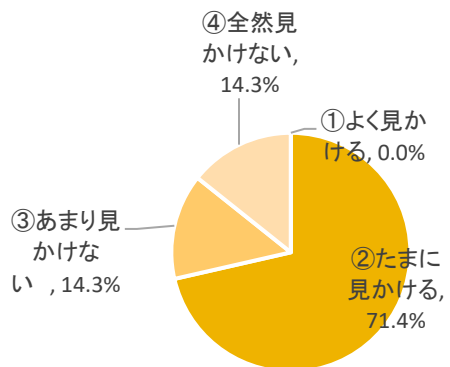
２．外国語活動を行なう上で、児童に変化はありましたか。



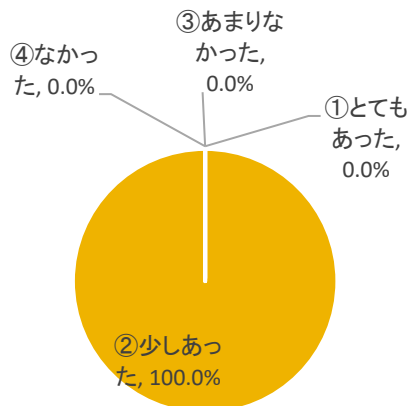
4. 1年生から外国語活動を行うことは、児童にとって良いことだと思いますか。



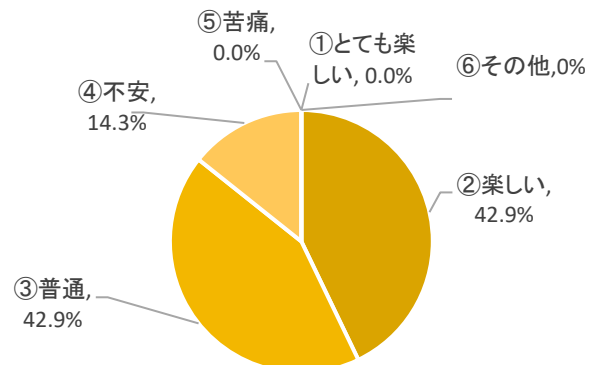
5. 外国語活動の授業以外で、児童が英語を使っているのを見かけたことはありますか。



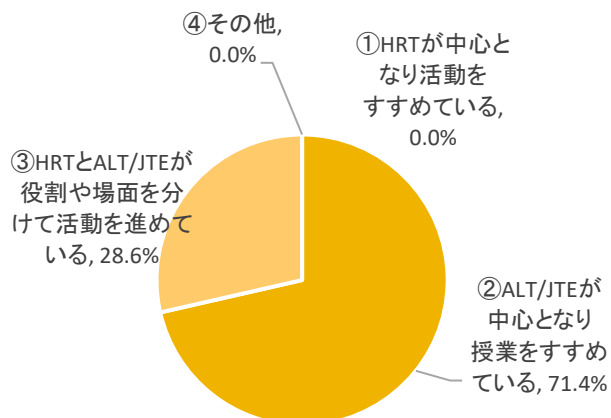
6. 英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか。



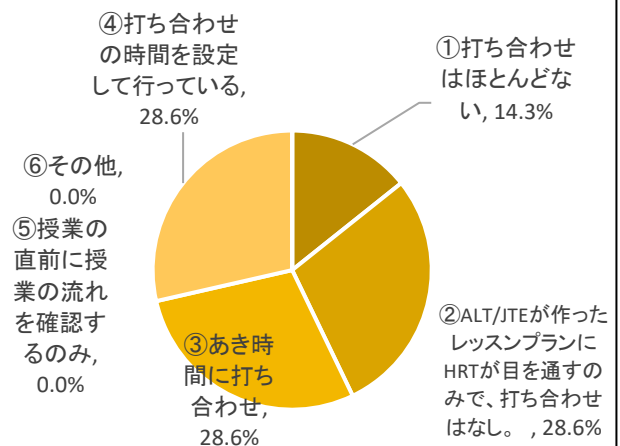
8. 外国語活動の授業を行うことをどのように感じていますか。



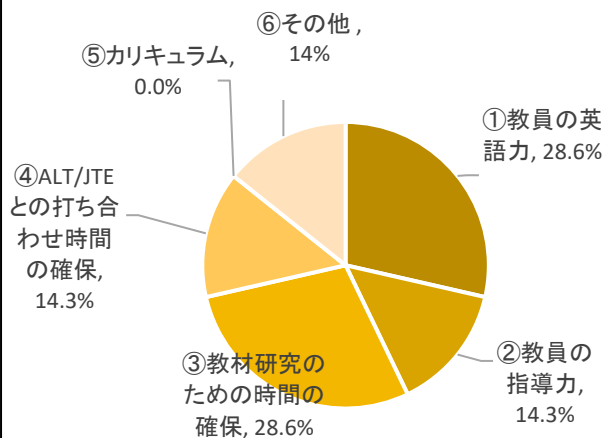
10. TTについて1番ちかいもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。



12. 外国語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。



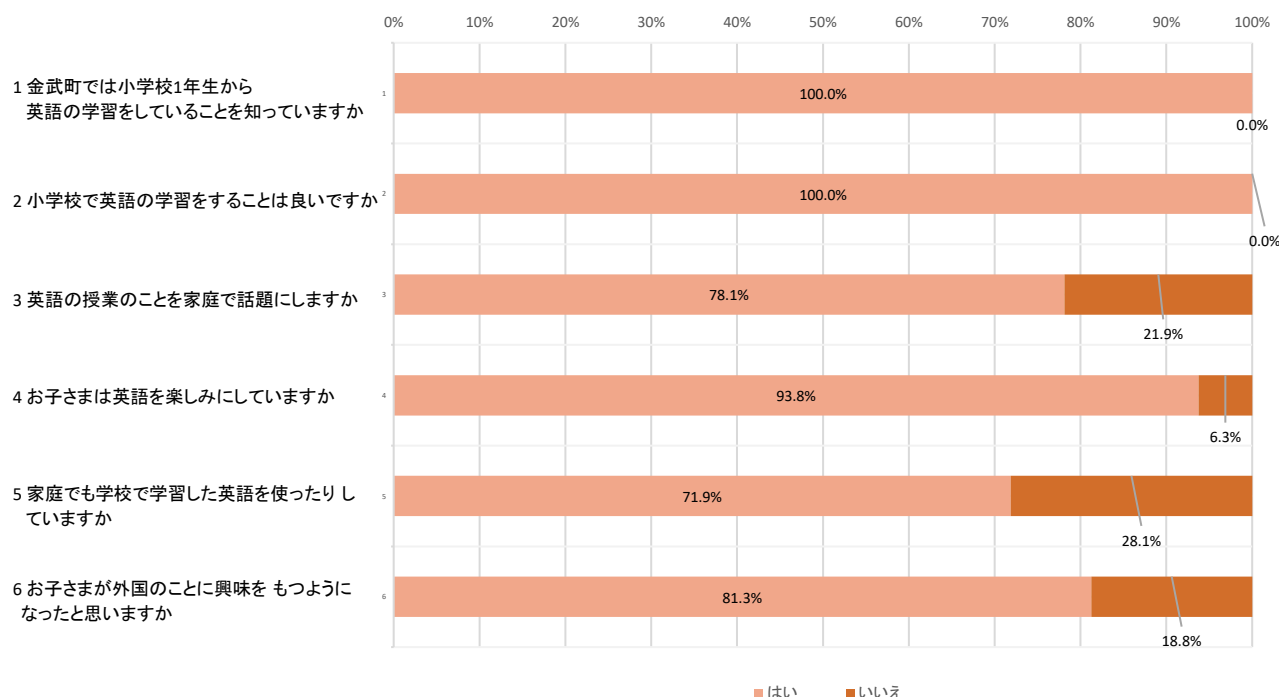
教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

★「英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか。」の問に対して

- ・一緒に楽しめるようになった
- ・子どもたちと一緒に表現を学ぶことができた。研修等で得た情報を授業にいかすことができた。
- ・ALTの先生とのコミュニケーションがとりやすいので、学習を進めるにあたっての不安がなくすめられたところ。
- ・英語のフレーズを早口で言えるようにすることも大切だと感じた。
- ・前向きにできるようになった。
- ・HRTとして、外国語科・外国語活動の時間にどうむきあうか、深く考えるようになった。
- ・英語の苦手意識。T1としての役割。年間計画通りすすめるか？

【別表4】令和6年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）中川小学校

令和6年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者） 結果



保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

- ・ いつも英語の時間を楽しみにしているようです。これからもよろしくお願い致します
- ・ テレビに表示されるアルファベットやローマ字が読めたり、習った単語は読めるようになっていきます。ELT の先生との会話だけではなく同年代の英語圏の子ども達と交流を通して学びを実践で活用できる場があるといいです。
- ・ 楽しく英語を学んでいると話しているので継続的に楽しい授業になると嬉しいです
- ・ 継続して取り組んでいただきたいです。3年生からテストも実施してくださり、本人の威力も出ると思います。ただちょっと気になるのが、この調子でいくと6年生に英検5級を挑戦することになると思いますが、今のところ受けれるまでの実力が全くなかったのも、せっかくだから、夏休み等の休みで家でも出来るような5級の対策の宿題ドリル等があったらいいなと思いました。
- ・ 自分たちの時代と違って発音がいいように思えます。沖縄県は英語の必要性が高いのでこのような取り組みはありがたいです。軍が近いのもっと交流できる機会があったらいいと思いました